

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用児童の特性に応じた視覚支援や、年齢・発達段階に応じた物の配置や導線づくりに努め、定期的に見直しをおこなっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃に加え、室内には空気清浄機・加湿器を設置し、清潔な空間を保てるよう努めております。また、当日の利用児童に合わせた環境設定をおこない、心地よく過ごせる環境づくりに努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、別室で個別対応をおこなっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日、サービス提供前に職員全体で集まり、利用児童の支援について話し合う時間を設けております。また、定期的な会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りや業務改善についても協議し、共通理解に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートを配布し、ご意見・ご意向を把握するとともに、職員間で共有し、業務改善につなげるよう努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日、サービス提供前に職員全体で集まり、利用児童の支援について話し合う時間を設けております。また、定期的な会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りや業務改善についても協議し、共通理解に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりませんが、第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内研修は定期的におこなっております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		個別支援計画の作成前にアセスメントを実施しています。定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し、支援計画に反映しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的な会議を開催し、評価や課題分析、日々の振り返りをおこないながら、職員間で共通理解を図っております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成された一人ひとりの支援計画内容は職員全体で周知・共有し、計画に沿った支援を提供しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもとにきく聞き取りをするよう努めてまいります。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインを遵守し、利用児童の特性に合わせた項目を選択し、必要な具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援計画をもとにチームで立案・役割分担をおこない、協力して支援を実施しております。立案内容については日々話し合いを重ね、改善を図りながらより良い支援提供に努めております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節を取り入れた制作や行事、個別療育以外の小集団療育等、利用児童の状況に合わせた日々の内容・支援をおこなっております。また、他事業所との情報共有や専門職の手法も取り入れながら、多様な趣向を凝らした支援をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の発達段階や特性に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成し、計画に基づいた支援をおこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日、その日の職員全体での打ち合わせをおこない、職員配置や環境設定をおこなっております。その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解を持ち、支援をすることができるよう、情報共有に努め、連携を図っております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援翌日の朝、前日の支援に対し、成功点・工夫・気になる点等を出し、次回利用時の支援につなげています。勤務時間・業務の都合により、参加できない場合もあるため、伝えあいや連絡ノート等で工夫し、共有ができるようにしています。	今後も振り返りと情報共有を大切に、全職員が確実に行える体制づくりに努めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の療育内容や体調、生活状況の変化などの気づきを記録し、職員間および保護者様へ報告しております。また、保護者様との連絡帳や口頭でのやり取りを通じて情報を共有し、支援の検証・改善につなげております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングを取り入れるために、保護者様からのご要望や面談の際に児童の状況を把握し、計画の見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		滞在時間・体調・情緒を見ながら、複数の基本活動を組み合わせる支援をおこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7		個々の特性に合わせて、選択の方法を工夫し、自己決定を促し養う支援をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画し、会議の内容については職員全体で共有しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して体制を整えているか。	7		関係機関と連携を図り、必要に応じて情報共有や相談をおこなっております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時や連絡帳、電話対応等を通じて、必要に応じた連絡調整をおこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	保護者様を通じて発信し、必要に関係機関の先生方と連携をとっております。	今後も関係機関との連携を大切に、支援内容等の情報共有と相互理解に努めてまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	現在対象となる利用児童がいいため実施しておりませんが、今後対象児童が通所した場合には、支援内容等の情報提供をおこなってまいります。	今後、対象児童が通所した場合は、情報提供をおこないます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	現時点では、設けておりません。	今後は、外部での研修等への参加を検討してまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		現時点では、個人情報等の観点から、外部との交流の機会は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	33 (自立支援) 協議会等積極的に参加しているか。	7		現時点では、参加しておりません。	今後は、自立支援協議会への参加を検討してまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		通所時や送迎時に保護者様からご相談をいただく機会が多く、園やご家庭の様子をうかがいながら助言をおこなっております。また、事業所からも気づいた点をお伝えすることで、状況や課題についての共通理解につなげております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現時点では、ペアレント・トレーニング等は実施しておりません。	今後、保護者様のご意向を伺いながら検討してまいります。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時にご理解いただけたか確認を取りながら、説明させていただいております。	
	37 放課後等デイサービス提供を成す際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談・アセスメントにて保護者様のニーズ聞き取りや課題を明確に捉えた後、職員間での話し合いで意見を出し合い、客観的に分析し、支援計画が作成されております。計画の見直しは、ご要望にお応えし、その都度おこなうことが可能です。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		保護者様とお話の中でガイドラインに沿った支援計画を立て、その計画に対して、ご意向・課題に相違ないか確認しながら、十分な説明のうえ同意を得ております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳、送迎時、電話対応などのコミュニケーションツールを活用し、保護者様の困りごとに応じるよう努めております。また、ご希望に応じて個別で家庭訪問や事業所内での相談時間を設け、必要な支援や助言をおこなっております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現時点では、実施予定はありません。	今後保護者様同士の連携が支援できるような活動等の開催を検討してまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者様からの申し入れやご相談に対しては職員全体で共有し、状況を整理したうえで迅速かつ適切に対応できるよう努めております。		
42 定期的に通信等を送信することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		COMPASSだよりを季刊で発行し、毎月のお便りも作成して保護者様へ配布しております。また、公式WebサイトのブログやYouTubeの療育チャンネル、各種SNSを通じて情報発信をおこなっております。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面やイラスト、提示物等のさまざまな手段を活用し、情報伝達に配慮しております。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7		現時点では、個人情報等の観点から外部との交流の機会は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは保護者様にも確認していただきやすいよう事業所玄関に掲示し、周知に努めております。また、発生を想定した訓練を定期的に行い、訓練後には職員間で振り返りをおこない、改善につなげております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に火災・地震・風水害・不審者対応訓練を実施し、訓練後は職員間で振り返りをおこない、共通理解と改善に努めております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7		契約時および必要に応じて保護者様に確認をおこない、職員全体で情報共有しております。対応については児童発達支援管理責任者の責任のもと、適切に実施できるよう徹底しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	現在、対象となる利用児童がいいためおこなっていませんが、アレルギーのある児童については、保護者様よりアレルギー調査票にて確認をおこない、アレルギー一覧を作成し、職員全体で把握して対応をおこないます。	今後、対象児童が通所した場合は、個別の対応マニュアルを作成し、慎重かつ適切に対応に努めてまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、事業所内に掲示しております。計画に基づき、点検や訓練を実施しております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づく取り組みについて、保護者様へ周知できるような努めております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		ヒヤリハット事例は都度記録を作成し、定期的な会議で共有・検討し、再発防止に努めております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内にて定期的なマニュアルに沿った職員研修を実施し、適切な対応が継続できるよう努めております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス事業所に記載しているか。	7		利用契約書において原則として身体拘束は禁止しておりますが、やむを得ず必要となる場合には、保護者様より十分に説明し、承諾を得たうえで支援計画に記載するよう努めております。	